

平成 28 年 10 月 6 日（木）

第 2 回 上小地域医療・介護連携推進研究会を開催しました

上小地域で地域の実情に応じた入退院時の基本的な調整ルールを策定するため、10月6日(木)に第2回上小地域医療・介護連携推進研究会を開催し、医療や介護の関係者 85 名が参加しました。



【研究会の様子】



【長棟所長あいさつ】

7月12日(火)に開催した第1回研究会でグループワークをした「上小地域の医療と介護の現状と解決策」や医療機関及び居宅介護支援事業所へのアンケート調査結果を踏まえ、具体的な入退院調整ルールづくりをしました。

1 グループ 8 名程度の 10 グループに分かれ、次の 2 ケースについて検討しました。

A 入院前にケアマネージャー、地域包括支援センターが決まっている場合

B 入院前にケアマネージャーや地域包括支援センターが決まってないが、退院後にサービスの利用が見込まれる場合

今回は 2 回目ということもあり、前回より話が盛り上がる様子が見受けられました。医療と介護関係者との間で「顔の見える関係」が構築されてきていると実感できる研究会となりました。



【グループワークの様子】

グループで作成したルール案を前方に貼り出し、各グループごとに発表しました。医療と介護関係者の「入院から在宅へ、切れ目のない支援をする」という思いが込められた様々な入退院調整ルール案が作成されました。



【10通りの入退院調整ルール案を掲示】



【グループ発表会の様子】

今後、数回の検討を重ね、平成29年4月には、上小地域で「入退院調整ルール」の運用を始める予定としています。

(出典)

上田保健福祉事務所ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/2jousyouiryokaigorencei.html>